

### 第3回 伊豆市総合計画審議会 会議要録

日時 令和7年9月19日（金）午後7時00分～

場所 本庁舎別館大会議室

出席者 ○伊豆市総合計画審議会委員（10名）

山田健次会長、高橋いづみ副会長、青木加奈委員、飯田正志委員、酒井新二委員、櫻井美鈴委員、佐藤雅彦委員、勝呂克彦委員、勝呂義衛委員、服部保江委員

\*\*\*\*\*

#### 1. 開会

#### 2. 会長挨拶

審議会後の先を見据えて、前回は宿題としてテーマを出させていただいたが、皆さんが伊豆市を好きだということが伝わってきた。決めることがたくさんありますが、今日はよろしくお願ひします。

#### 3. 議事

##### (1) 基本構想（案）について【資料1、2、3】

##### くめざすまちのテーマについて>

資料1、資料2について事務局より説明。以下意見交換。

(会長)

「めざすまちのテーマ」については、委員の8割以上から回答を頂き、感謝申し上げる。前回の事務局案は、「守りながら」という表現が「何を守るのか」の説明が足りなかった。そこを補う形で、事務局から、歴史、文化など守りたいものを説明頂いた。伊豆市は第二子、第三子の出生率が高いことが新聞でも取り上げられ、また、防災対策も先進的に取り組んでいるなど、これまで取り組んできたことを守りながら、ただ守るだけではなく変わらなければいけない、というメッセージは良いと思うがいかがか。

(委員)

前回から市民や豊かな自然、文化などを守りながら変化し続ける、というテーマは良いと思っていた。

(委員)

前回の事務局案をもう少しみ砕いた表現がないかと思い、検討してきた。もう少し工夫しても良いのではないか。

(委員)

説明を付す、ということだが、一般の市民が説明を聞かないと分からないキャッチコピーで良いのか。

(委員)

「市民、自然、歴史、文化」の括弧標記をなくしてはどうか。これらの守りたいものを前に出して改行し、キャッチフレーズとしてはどうか。また、わさびなど農業の施策もあるので、守りたいものに、「食」も入れてはどうか。

(委員)

「食」は「文化」に含まれるのではないか。

(会長)

テーマは事務局案とし、説明が不足している部分を引き続き事務局で検討することで良いか。  
(一同)  
異論なし。

#### <将来人口の設定について>

資料1、資料3について事務局より説明。以下意見交換。  
(会長)  
将来人口のシミュレーションは衝撃的な数字であるが、いま全国でこのような状況となっている。数字について何か意見はあるか。  
(委員)  
シミュレーションの数字については受け止めるしかない。  
(会長)  
例えば世帯数が少なくても、世帯人数が増えればこの数字はかわってくるだろう。  
(委員)  
出生率を上げるためにはどうするか。結婚しない人が増えていることも課題ではないか。都会から地方への移住を希望する人も増えているので、移住者を増やしたり、結婚と一人目の出産を増やす施策が必要ではないか。  
(会長)  
その辺りは事務局とも相談しており、素案にも織り込んでいきたいのでこの後ご意見頂ければ。シミュレーションの数字は原案通りでよいか。  
(一同)  
異論なし。

#### <土地利用構想について>

資料1について事務局より説明。以下意見交換。  
(会長)  
土地利用構想について意見はあるか。  
(委員)  
6ページ上から3つ目「地域交流中心地」の凡例の記号が、地図の中と太さが異なっているので修正を要する。  
(事務局)  
ご指摘の点は、修正する。  
(会長)  
基本構想については、記号の表記を修正したもので決定したい。  
(一同)  
異論なし。

#### (2) 基本計画(案)について 【資料4】

##### <重点目標①について>

資料4について事務局より説明。以下意見交換。

(会長)

事務局から説明があった通り、基本計画には基本的な方向性を記載し、具体の取組は個別計画に委ねる方針である。では、基本計画の重点目標①について意見はあるか。

(委員)

未婚の方の平均収入は把握できるか。独身同士が出会ったとしても収入が少なければ結婚を諦めてしまうのではないか。「出会い」の他にも、結婚に至らない要因がある可能性がある。例えば子育てにおいて、いくら検診が無料でも、検診に行くのに1時間半かかるのでは妊婦にとって負担であるところ、産院の誘致はどうするのか。また、田舎ほど女性が子育てすべきという考えが根強く、父親の育児へのサポート、祖父母への家庭教育があれば良い。

(事務局)

未婚の方の平均収入をとったデータはない。

(会長)

ご意見を踏まえた、細かな点については、個別計画の中で対応していく。

(委員)

伊豆市に限らないが、結婚に対して魅力を感じない若者が多いことも課題ではないか。

(委員)

出会いや結婚を望む市民は一定いるが、経済状況で諦める方もいるため、若者の経済状況に対応する施策を入れられないか。また、政策1のタイトルは「子育て」とは違う表現の方が良いのではないか。

(事務局)

「結婚・子育て」或いは「出会い・子育て」はどうか。

(委員)

「結婚」という表現は、色々な考え方があるので気になる方もいるのではないか。

(委員)

伊豆市で出産することが必要ということではないので、産んだ人に来て頂き、良い環境で子育てしてもらおうなど、「子育て」に重点を置いている、という整理でも良いのではないか。

(委員)

「出会い」は、まちづくりの一環として、政策1ではなく政策8「地域力」の方に入れてはどうか。

(会長)

その考えはあるので後で議論したい。「出会い」を除き、修正案について了解頂けるか。

(一同)

異論なし。

### <重点目標②について>

資料4について事務局より説明。以下意見交換。

(会長)

防災については、伊豆市は他より優れた取組していると思う。多岐にわたる災害に対し、何を手当てするかが重要だが、市民が自分の身を自分でしっかり守れるようにすることが大切と考える。修正案に対し、意見はあるか。

(委員)

非常階段の周りに草が茂って上れないなど、防災施設は作るだけでなく、その後の管理が重要だと思うが、誰が管理しているのか。

(危機管理)

市道であれば市が管理するが、地元の道の草刈は、避難路も含めて地域にお願いしている。地域で対応しきれない場合などは、市に相談頂きたいと考えている。

(会長)

こういった問題も防災意識の中で考えることが必要。地域協議会で対応するなど、地域が考える必要がある。修正案に了解頂けるか。

(一同)

異論なし。

### <重点目標③について>

資料4について事務局より説明。以下意見交換。

(会長)

観光税については、決定事項としては書けないのか。

(委員)

確定事項ではない。

(産業部)

観光税については、今年度までに計画を策定し、その後協議を経て令和10年4月1日施行を目指している。総務省との協議や、議会の承認を経て決まるため、確定事項ではない。

(会長)

森林環境譲与税とあるが、県の森の力再生事業も継続すると聞いている。計画で触れられないか。

(産業部)

森の力再生事業については、県議会で審議中である。間に合えば計画に入れられる。

(会長)

修正案に同意頂けるか。

(一同)

異論なし。

### <重点目標④について>

資料4について事務局より説明。以下意見交換。

(委員)

先ほど話題に上がった「出会い」については、本政策の「まちづくりの多様な担い手の育成」に入れた方が良いのではないか。

(会長)

「新たな交流人口の創出」でも良いのではないか。市外の人も含めた、男女関わらず様々な交流があり、そこに出会いの場がある。

(委員)

「新たな交流人口の創出」に賛成。結婚だけが出会いの目的ではなく、「子育て」に入れるより自然と感じる。

(委員)

移住者交流会に参加した際に、若い女性から、伊豆市は子育ての支援はあるが、若者への支援が少ないという意見があった。若い人たちが帰ってきて何かをするための支援がない。若者支援を「地域力」の施策に入れてはどうか。「結婚」という文言を使わずに、仕事や交流の場所の創出を含めた「若者支援」というまとめ方も考えられるのではないか。

(会長)

移住者同士のネットワークはあるが地元の人との交流は少ない。自然に出会える場所があればよいが、なかなか難しいのでセットすることも考えなくてはいけない。

(事務局)

そのような出会いの場の創出は、28ページの「まちづくりに関する人と連携しながら」の表現に含むと考えていた。

(会長)

施策の方向性の中に、若者支援や交流の場の創設を文言として加えることはできないか。

(委員)

28ページの表現は「～郷土愛を育みます」とあるから、既に住んでいる人というニュアンスが強い。市外の人も含めた交流について、書き足してはどうか。

(会長)

意見を踏まえ、結婚は結婚で政策1に残しつつ、交流や出会いの場を創設する旨の文言を入れることとしたい。

(委員)

交流の場は若者だけがターゲットで良いのか。

(会長)

「まちづくりの多様な担い手の育成」なので、年代的には若者世代がターゲットになるのではないか。

(委員)

「現状と課題」で、次世代が育っていないことに触れてはどうか。

(事務局)

「現状と課題」と「施策の方向性」の両方に、若い世代の交流や人材育成に関する文言を入れる方向で考えたい。

#### <重点目標⑤について>

資料4について事務局より説明。以下意見交換。

(委員)

今後検討いただきたい点として、外国人の方の交通事故が増えている。外国人を迎え入れたその先について、市民の安全を守るための支援等についても考える必要があるのではないか。

(会長)

国が抱える問題と同じ問題はある。

修正案で了解頂けるか。

(一同)

異論なし。

4. その他

資料5（スケジュールの変更）について事務局より説明。

5. 閉会

以上